

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成20年度 / 大手民鉄16社)

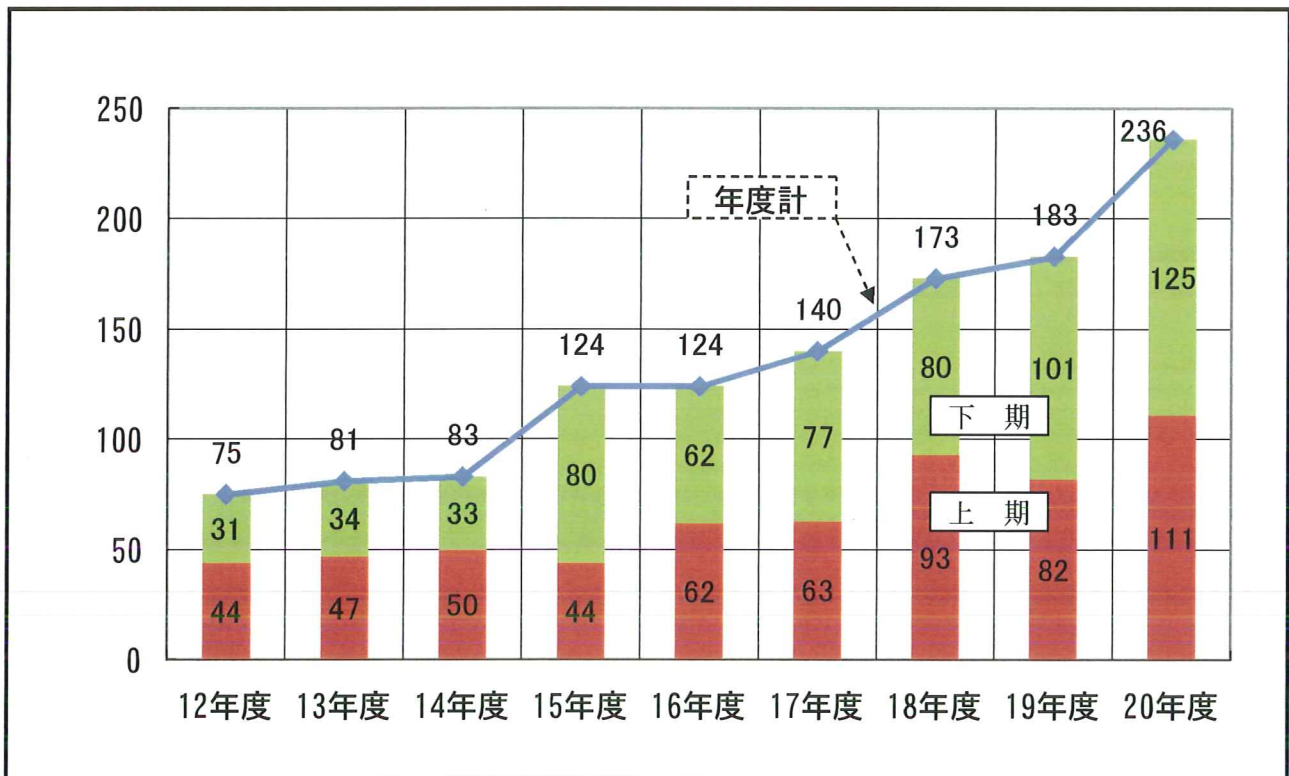
社団法人日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数の集計を行いました。

暴力行為の発生件数は236件（上期111件、下期125件）となり、昨年度の183件を大きく上回り、過去最悪の件数となっております。暴力行為が発生する状況としては、週末の22時以降、飲酒を伴った場合に多発する傾向があり、年齢別では幅広い年代に分布しています。

1. 鉄道係員に対する暴力行為の発生状況

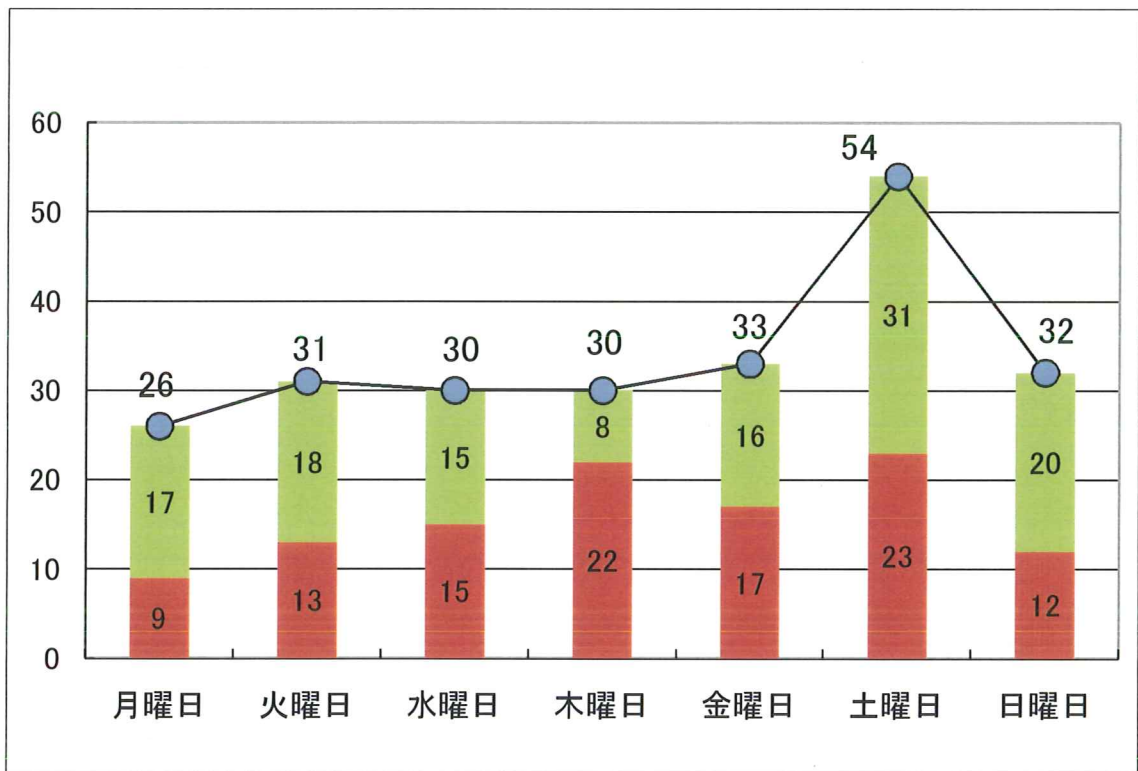
暴力行為の発生状況については以下のとおりです。

1. 年度別 発生件数

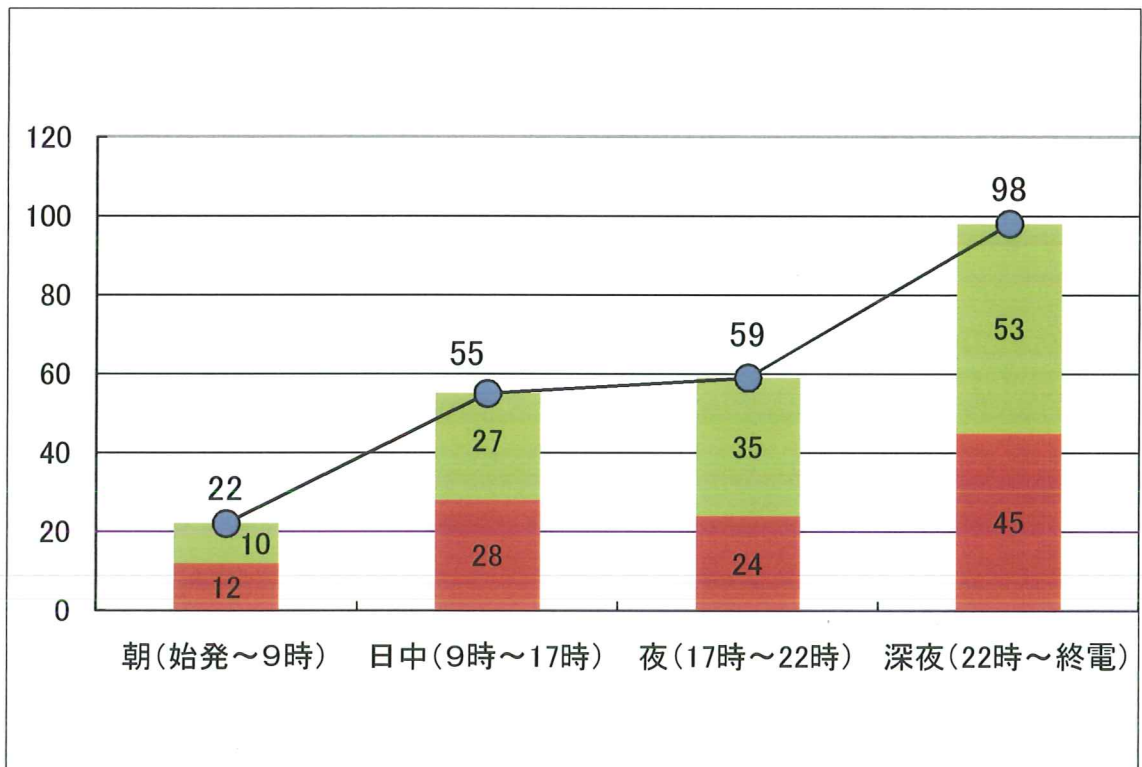


(次頁に続く)

2. 曜日別 発生件数



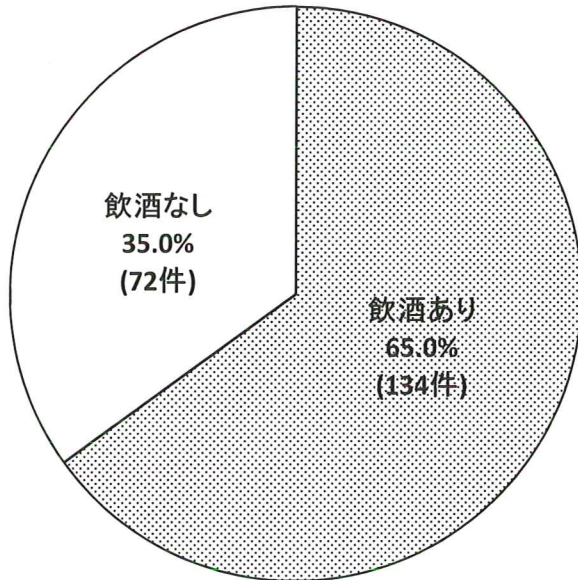
3. 時間帯別 発生件数



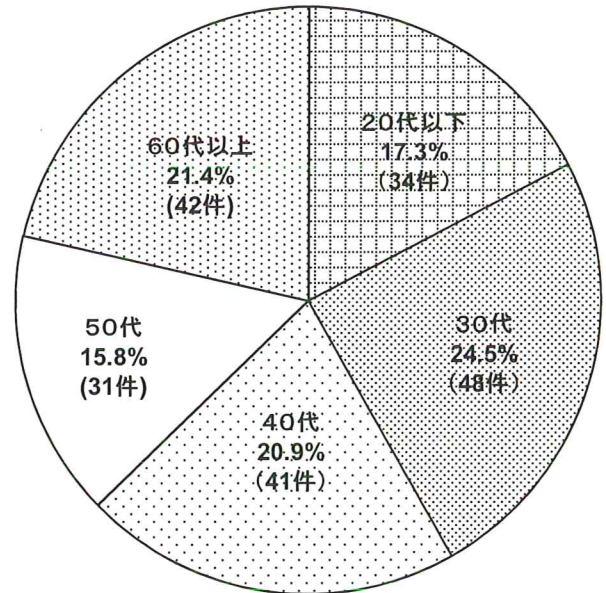
II. 鉄道係員に対する暴力行為の分析

暴力行為の発生傾向については以下のとおりです。なお、詳細が判明しているケースを集約しているため、表に記載の件数の合計は項目ごとに異なります。

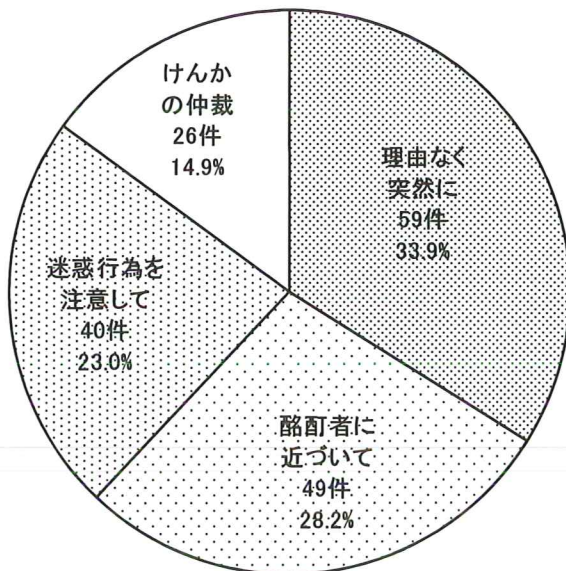
1. 加害者の飲酒状況



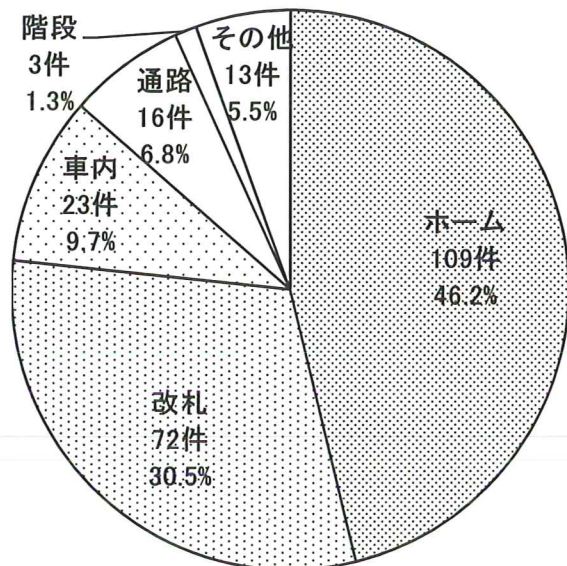
2. 加害者年齢



3. 発生契機



4. 発生場所



Ⅲ. 顕著な事例

【事例 1】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	不明	飲酒	あり

駅員は改札口でお客様からお忘れ物の照会を受けたため、お忘れ物検索システムで検索を行なったものの発見できなかった。駅員がその旨を説明したところ、お客様は強い口調で怒り出し再検索するよう言われた。駅員は再検索を行ったものの見つからず、その旨を説明したが、加害者は納得せず駅員の左頬を殴った。（休業1日）

【事例 2】

曜日	月曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	列車内
契機	理由なく突然に	年齢	70歳代	飲酒	なし

車掌が、車内のお客様全員に降車をご案内しているにもかかわらず降車しないお客様に対して降車を願い出たところ、加害者は突然怒りだし、車掌の右頬を拳で殴った。

【事例 3】

曜日	木曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	列車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	30歳代	飲酒	あり

駅員が当駅止まりで回送となる列車内に寝ていた酔客を起こし、倒れないよう支えながら車外へ降ろそうとしたが、目覚めた加害者は、突然持っていた傘で、何度も駅員の体を殴打した。さらに、制止しようとした同駅員の制服のポケットを破った。（全治14日）

【事例 4】

曜日	火曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	40歳代	飲酒	あり

A 駅員がホーム上でお客様同士のトラブルを発見し、止めに入った際に加害者が暴れたため、額を負傷した。それを見て、制止しようとした別の B 駅員も右腕を負傷した。また、事務所に誘導した後も加害者は暴れ続け、それを制止しようとした別の C 駅員も左肩を負傷し、3名の駅員が負傷した。（全治7日・全治7日・全治14日）

【事例5】

曜日	木曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	20歳代	飲酒	なし

改札口で駅員がお客様から乗車券紛失の申し出を受けた。駅員はお客様に乗車駅や購入金額などを伺い、再度身の回りをご確認いただくようお願いしたところ、突然右手で胸を殴られ、さらに左頬を殴られた。これにより駅員は左頬骨を骨折した。（全治28日）

【事例6】

曜日	木曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	20歳代	飲酒	なし

電車が発車する際に車掌がホーム監視をしていたところ、ホームにいたお客様が突然、車掌の左頬を右手で殴打した。加害者に理由を聞いたところ、「乗ろうとした電車に乗れなかったため、殴った」というものだった。（全治7日）

【事例7】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	70歳代	飲酒	あり

お客様から自動改札機に入れた切符が出てこないと申し出があった。駅員は改札機を確認、乗車券をお客様にお渡ししたところ、突然、加害者は大声を出しながら、手に持っていた杖で駅員の胸部を突き、その衝撃で駅員はあおむけに転倒した。（全治7日）

【事例8】

曜日	水曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	駅構内
契機	けんかの仲裁	年齢	60歳代	飲酒	あり

駅構内で喧嘩が起きているという連絡を受け、現場にA駅員とB駅員が向かった。そこで酔客同士のトラブルが起きていることを確認し、止めに入ったところ、加害者が暴れ、A駅員は左顔面を殴打され、顔面を負傷した。（全治10日）

以 上

※（参考資料）鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について
 【平成20年度下期 / 大手民鉄16社】

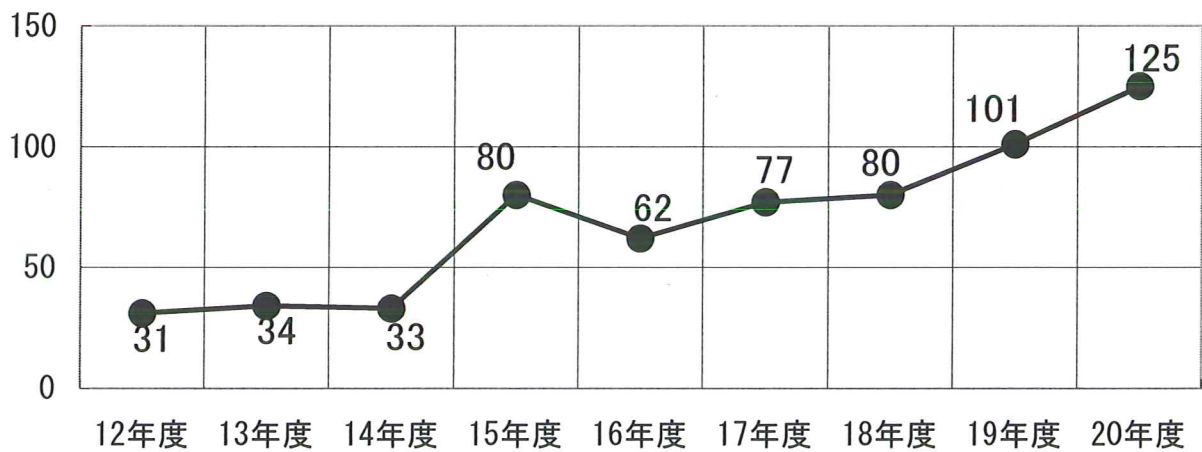
社団法人日本民営鉄道協会では、平成20年度下期（平成20年10月～平成21年3月）、大手民鉄16社における暴力行為の発生件数の集計を行いました。暴力行為の発生件数は125件となり、昨年度下期の101件を上回り、過去最悪の件数を記録しております。

傾向としては、上期と同様に週末の22時以降、飲酒を伴った場合に多発し、年齢別では幅広い年代に分布しています。

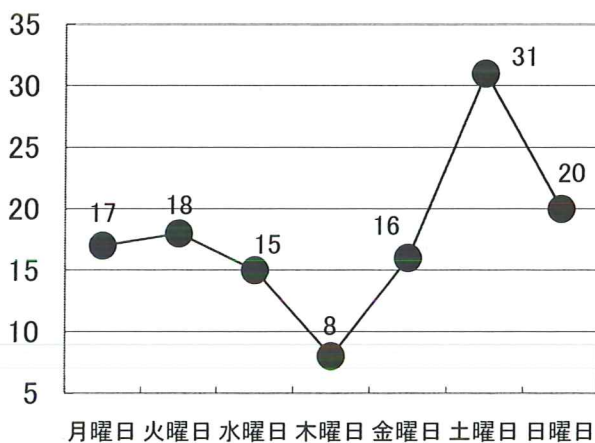
I. 鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（下期）

暴力行為の発生状況については以下のとおりです。

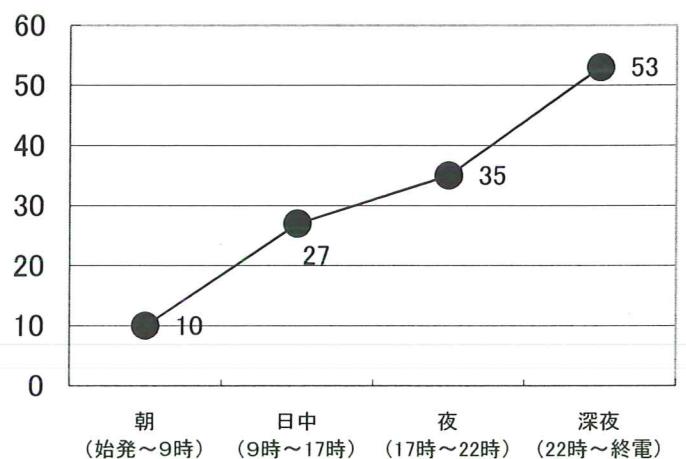
1. 年度別 発生件数（下期）



2. 曜日別 発生件数



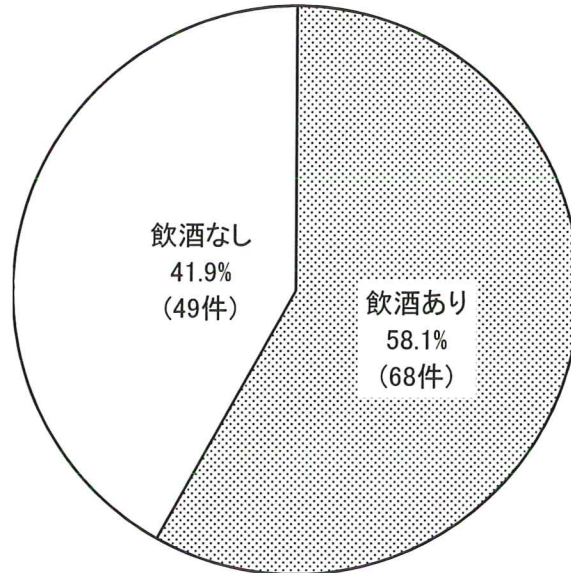
3. 時間帯別 発生件数



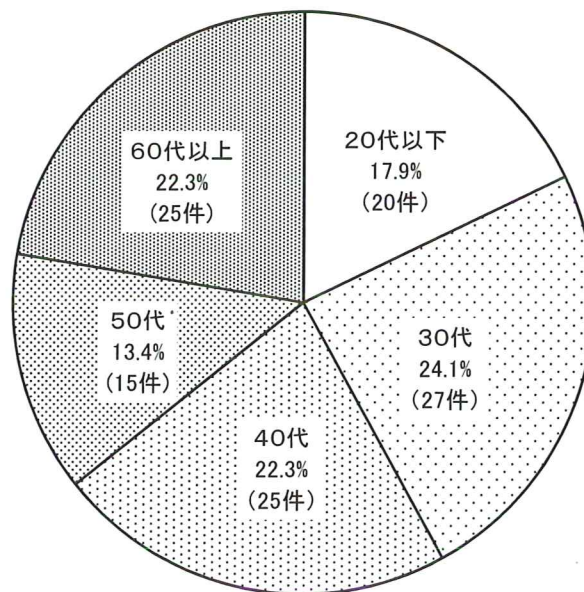
II. 鉄道係員に対する暴力行為の分析（下期）

暴力行為の発生傾向については以下のとおりです。なお、詳細が判明しているケースを集約しているため、表に記載の件数の合計は項目ごとに異なります。

1. 加害者の飲酒状況



2. 加害者年齢



3. 場所別 発生件数

ホーム	改札	駅構内
52件	45件	11件

4. 契機別 発生件数

理由なく突然に	酩酊者に近づいて	迷惑行為を注意して	けんかの仲裁
34件	26件	20件	8件